

# 万民教会新聞

発行:宗教法人イエス・キリスト日本聖潔教団  
飯田万民教会  
住所:長野県飯田市鼎切石 3883-4  
電話:0265(56)8286 FAX(56)8287  
E-mail imc@s9.dion.ne.jp



## 区域グループ交わり会

「そして毎日、心を一つにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。」 聖書より

神様の子どもたちが集まるところは、いつもイエス様が共にしてくださる平安と恵みの場所です。

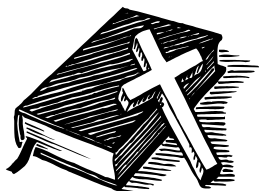
飯田万民教会には、12の区域グループがあります。区域グループでは、教会の礼拝とは違って、少人数の集まりで、互いの信仰について確認しあったり、証しを通して恵まれたり、時には問題について祈りあったりします。

信仰生活の中では、このことはどうしたらいいのだろうと思うことがたくさんありますが、そんなときこの区

域交わり会はとても力になるのです。

また、教会について伝えたいと思う人も、この区域交わり会を大いに活用しています。気軽な家庭での集まりに楽しく参加されている方々もたくさんいらっしゃいます。今年も、飯田万民教会の働きが大きくリバイバルするために、この区域グループ交わり会が神様の役に立つことでしょう。

皆さんもぜひ仲間に入りませんか。区域グループ交わり会が皆さんの心の糧となりますように。



## 信仰相談



「天使は本当に存在しますか？  
存在するとしたら、  
その役割は何ですか？」

### § 質問 §

「聖書には、天使に関する記録が、たくさんあります。また私の周りには、実際に『天使を見た。』とか『天使の声を聞いた。』と言う人たちもいます。私はまだ天使を見たことがなく、天使が本当に存在するのか、もし存在するとしたらなら天使の役割は何なのか、知りたいのです。」

### § 答え §

神さまの創造は、被造物によって大きく分けると私たちの目に見える「肉の世界」、すなわち人間を初めとした全宇宙万物があり、また、私たちの目に見えない「霊の世界」もあります。

この「霊の世界」に属する被造物の一つである天使は、超越的かつ神秘的な存在として、人々の関心の的にならないはずがありません。

天使は、今日、文学や映画、演劇、音楽にもしばしば登場する主題ですが、天使の実際的な存在と活動に

ついては、疑う余地がないほど十分に聖書に啓示されています。

では、天使とは、いったいどんな存在なのでしょう  
か？

#### 1 天使の存在と特性

聖書66巻の内、34巻で天使の存在について言及しています。「天使（御使い）」ということばが聖書に約275回出てくるのをはじめ、イエスさまが天使の存在をご存じで弟子たちに教えられたことによって、天使が実際に存在することがわかります（マタイ福音書18章10節「あなたがたは、この小さい者たちを、ひとりでも見下げたりしないように気をつけなさい。まことに、あなたがたに告げます。彼らの天の御使いたちは、天におられるわたしの父の御顔をいつも見ているからです。」、26章53節「それとも、わたしが父にお願いして、十二軍団よりも多くの御使いを、今わたしの配下に置いていただくことができないとも思うのですか。」）。

使徒の働き7章56節を見ると、執事のステパノが、聖霊充滿の中で霊の目が開かれて、「見なさい。天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見えます。」と告白する場面が出てきます。

ですから、今日でも、神さまが霊の目を開いてくださるなら、天使だけでなく、もっと深い霊の世界はつきり見たり体験したりできるのです。

では、天使とはどんな存在なのでしょう？

天使は、人間と同様に神さまの被造物であり、人間の姿に似ていますが、肉も骨もない純粹に霊的な存在です（詩篇148篇2節と5節「主をほめたたえよ。すべての御使いよ。主をほめたたえよ。主の万軍よ。」

「彼らに主の名をほめたたえさせよ。主が命じて、彼らが造られた。」、コロサイ人への手紙1章16節「なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。」ヘブル人への手紙1章14節「御使いはみな、仕える霊で

あつて、救いの相続者となる人々に仕えるため遣わされたのではありませんか。」)。

また、結婚や死とは無関係な存在です(マタイ福音書22章30節「復活の時には、人はめとることも、とつぐこともなく、天の御使いたちのようです。」、ルカ福音書20章36節「彼らはもう死ぬことができないからです。彼らは御使いのようであり、また、復活の子として神の子どもだからです。」)。

それだけでなく、人間のように知性(ペテロの手紙第一1章12節「彼らは、それらのことが、自分たちのためではなく、あなたがたのための奉仕であるとの啓示を受けました。そして今や、それらのことは、天から送られた聖霊によってあなたがたに福音を語った人々を通して、あなたがたに告げ知らされたのです。それは御使いたちもはっきり見たいと願っていることなのです。」)とともに喜びや怒り、柔和などの感情(ルカ福音書2章13節「すると、たちまち、その御使いといっしょに、多くの天の軍勢が現われて、神を賛美して言った。」)を持つ人格的な存在です。神さまのような無限な知識と力はありませんが、人間よりは優れた知識と力を持つ存在です(マタイ福音書24章36節「ただし、その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。」、ペテロの手紙第二・2章11節「それに比べると、御使いたちは、勢いにも力にもまさっているにもかかわらず、主の御前に彼らをそしって訴えることはしません。」)。

## 2 天使の組織と役割

聖書を見ると、「無数の御使いたち」(ヘブル人への手紙12章22節「しかし、あなたがたは、シオンの山、生ける神の都、天にあるエルサレム、無数の御使いたちの大祝会に近づいているのです。」)とあつて、数えきれないほどの天使が存在することがわかります。それだけでなく、「天使」と、天の万軍である「天軍(天の万軍)」と(詩篇68篇17節「神のいくさ車は幾千万と数知れず、主がその中に、おられる。シナイが聖の中にあるように。」)、「天使長(御使いのかしら)」に(テサロニケ人への手紙

第一・4章16節「主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下つて来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、」)分けられていることがわかります。

神さまは、天使たちの間に秩序と階級を定め、受け持つ働く分野も分けて、任された働きによって威厳が異なるようになさいました(エペソ人への手紙1章21節「すべての支配、権威、権力、主権の上に、また、今の世ばかりでなく、次に来る世においてもとなえられる、すべての名の上に高く置かれました。」、3章10節「これは、今、天にある支配と権威とに対して、教会を通して、神の豊かな知恵が示されるためであつて、」、コロサイ人への手紙1章16節「なぜなら、万物は御子にあつて造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。」、2章10節「そしてあなたがたは、キリストにあつて、満ち満ちているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです。」、ペテロの手紙第一・3章22節「キリストは天に上り、御使いたち、および、もろもろの権威と権力を従えて、神の右の座におられます。」)。

国家に法務、国防、行政、建設、経済、文化などを受け持つさまざまな省庁があつて、各省庁を担当する大臣や長官がいるように、神さまは霊の世界にもさまざまな分野を造つて、それぞれを担当するリーダーの天使として「天使長」をおかれしました。

天使長の下に何人ものサブリーダーの天使をおいて天使長を助けさせ、このサブリーダーの天使たちが天使長配下の天使たちを分担してまとめることができるように、天使たちの間にもクラスを定めました。

では、これらの天使たちはどんな働きをしているのでしょうか?

全般的に、天使のつとめは、神さまをあがめて仕えることであり、また、神さまの贖いのみわざがおし進められて完成するために、救われた聖徒たちに仕えて助けることです。

天使長たちは、神さまのみそばで神さまの手足とな



り、目となり耳となって、あらゆる分野を見て回り、重要な事がらを調べて、神さまに直接指示を仰ぎます。

天使長の代表例としてガブリエルとミカエルがいますが、ガブリエルは文官にあたり、ミカエルは武官にあたります。彼らは、神さまがこの地上で人間を耕作なさる過程において、神さまを助けるという重要な役割を果たしています。

聖書を見ると、ガブリエルは、神さまが人間の祈りに大きな答えを与え、摂理、計画を与える時の使者であり、神さまの啓示の奥義の解き明かしを携えて、人のところに降りて来ます（ダニエル書9章21～23節「すなわち、私がまだ祈って語っているとき、私が初めに幻の中で見たあの人、ガブリエルが、夕方のささげ物をささげるころ、すばやく飛んで来て、私に近づき、私に告げて言った。『ダニエルよ。私は今、あなたに悟りを受けるために出て来た。あなたが願いの祈りを始めたとき、一つのみことばが述べられたので、私はそれを伝えに来た。あなたは、神に愛されている人だからだ。そのみことばを聞き分け、幻を悟れ。』」、ルカ福音書1章19節「御使いは答えて言った。『私は神の御前に立つガブリエルです。あなたに話をし、この喜びのおとずれを伝えるように遣わされているのです。』」、26、27節「ところで、その六か月目に、御使いガブリエルが、神から遣わされてガリラヤのナザレという町のひとりの処女のところに来た。この処女は、ダビデの家系のヨセフという人のいいなずけで、名をマリヤといった。）」。

また、信仰を持っている人には天使が一人以上ついて保護し、守ってくれていますが（ヘブル人への手紙1章14節「御使いはみな、仕える霊であって、救いの相続者となる人々に仕えるため遣わされたものではありませんか。）」、神さまを信じない全ての人にも、一挙手一投足を見守って神さまに報告する天使たちがいます（マタイ福音書18章10節「あなたがたは、この小さい者たちを、ひとりでも見下げたりしないように気をつけなさい。まことに、あなたがたに告げます。彼らの天の御使いたちは、天におられるわたしの父の御顔をいつも見ているからです。）」。

さらに、仕える天使もいて、イエスさまが悪魔の三

回の試みを退けた時、天使が主のみもとに来て仕えました（マタイ福音書4章11節「すると悪魔はイエスを離れて行き、見よ、御使いたちが近づいて来て仕えた。）」。

ダニエルが獅子の穴に投げ込まれた時に現われて、飢えた獅子の口をふさいだ天使や、使徒ペテロが牢に捕らえられた時に、門を開けて彼を助け出した天使など、力の強い天使たちもいます。

神さまを賛美する天使や天軍もいます（詩篇148篇2節「主をほめたたえよ。すべての御使いよ。主をほめたたえよ。主の万軍よ。）」。

たくさんの火の馬や火の戦車を率いる軍隊もあって、神の人を助けます（列王記第二・6章17節「そして、エリシャは祈って主に願った。『どうぞ、彼の目を開いて、見えるようにしてください。』主がその若い者の目を開かれたので、彼が見ると、なんと、火の馬と戦車がエリシャを取り巻いて山に満ちていた。）」。

これら全ては、今日でも必要に応じて神さまがお許しになるなら、私たちにも起こりうることです。

その他にも、私たちが祈る時にその香りを受け取って行く天使たちがいます（黙示録8章3～5節「また、もうひとりの御使いが出て来て、金の香炉を持って祭壇のところに立った。彼にたくさんの香が与えられた。すべての聖徒の祈りとともに、御座の前にある金の祭壇の上にささげるためであった。香の煙は、聖徒たちの祈りとともに、御使いの手から神の御前に立ち上った。それから、御使いは、その香炉を取り、祭壇の火でそれを満たしてから、地に投げつけた。すると、雷鳴と声といわずまと地震が起こった。）」。

迫り来る神の裁きを告げ知らせる天使もいます（創世記19章13節「わたしたちはこの場所を滅ぼそうとしているからです。彼らに対する叫びが主の前で大きくなったので、主はこの町を滅ぼすために、わたしたちを遣わされたのです。」、黙示録14章6節「また私は、もうひとりの御使いが中天を飛ぶのを見た。彼は、地上に住む人々、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音を携えていた。）」。

罪に対する報いの災いをこの地に下す天使もいま

す（サムエル記第二・24章16節「御使いが、エルサレムに手を伸べて、これを滅ぼそうとしたとき、主はわざわいを下すことを思い直し、民を滅ぼしている御使いに仰せられた。「もう十分だ。あなたの手を引け。」主の使いは、エブス人アラウナの打ち場のかたわらにいた。」使徒の働き12章23節「するとたちまち、主の使いがヘロデを打った。ヘロデが神に栄光を帰さなかったからである。彼は虫にかまれて息が絶えた。」）。

この世の終わりの裁きの時には、実を結んだ「麦」の信徒を収穫として刈り取るなど（マタイ福音書13章39節「毒麦を蒔いた敵は悪魔であり、収穫とはこの世の終わりのことです。そして、刈り手とは御使いたちのことです。」）、聖書に記録されている天使の働きは実に多様であり、分野ごとにそれぞれ活動する天使がいるのです。

ですから、天軍天使は数えきれないほど多く、聖書に出てくる天使長ガブリエル、ミカエル以外にも多くの天使長がいて天軍や天使をまとめ、率いていることを知らなければなりません。

今この時も、数えきれないほど多くの天使たちが、私たちに仕え、私たちを助ける存在として聖霊の指導のもとで奔走して、私たちの周りで働いているのです。

いよいよイエス・キリストが再臨なさる時には、私たちは、それまで私たちの目に見えないようにして私たちを助けてきてくれた全ての天使たちと喜びのうちに顔を合わせ、天使たちの美しくも雄壮な賛美の声を聞きながら、ともに父なる神さまを賛美して礼拝するのです。

コリント人への手紙第一・2章13節で「この賜物について話すには、人の知恵に教えられたことばを用いず、御霊に教えられたことばを用います。その御霊のことばをもって御霊のことを解くのです。」と語られているように、霊の世界は無限であり、人間の有限の知識や理論でははかり知ることができず、想像もできません。

ですから、みなさまが創造主なる神さまの御前に謙遜に悟りを求める者になって、霊の世界を造られた神さまの深い摂理とみこころを悟り、主にあって常に勝利する人生でありますように願います。

李 載禄 牧師・著

## 「天国」(上)

透き通った碧玉のように  
美しいところ

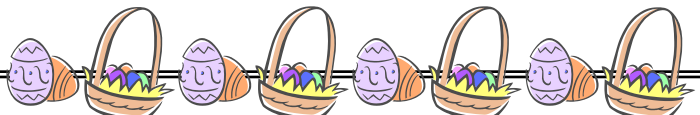


# イースターをお祝いしましょう！

「イースター」とは？ 人類の救いのために十字架にかけられ死なれたイエス・キリストがよみがえられたことをお祝いする日であり、世界中で「復活祭」として親しまれています。イエス様のよみがえりと共に、新しい命をいただいたことに感謝して、イースターをお祝いしましょう。

イースターは、4月8日（日）です。

- ♥イースター早天礼拝 午前6時～7時 飯田市運動公園野外ホールにて  
メッセンジャー：柳承吉牧師、特別賛美：ホーリネス宣教団
- ♥イースター主日礼拝 午前10時半～12時半 飯田万民教会聖殿にて  
メッセンジャー：柳承吉牧師、特別賛美：連合聖歌隊、※イースター愛餐会があります。
- ♥野外子どもイースター 午後1時半～3時 かざこし子どもの森公園にて  
公演：ホザナ人形劇団、イースターエッグを作ろう！、ゲーム大会、など。



# 神様に出会った人々

## 「神様は心を見ておられる」



証し：伊藤喜美子 姉妹

(第二婦人会・親切区域)

飯田万民教会というと「若い教会」という印象があるとお聞きすることもあります。実は70歳をこえるご年配の方々も多く集っておられます。その中には、もちろん、子どもの頃からの信仰者もいらっしゃいますが、数年前から教会にいられて信仰を持った方々も多くいらっしゃいます。

では、そのような皆さんは、どのようにして救われ、信仰生活をされているのでしょうか。一人の姉妹の証しを通して、神様の救いがどのように生活を変えてくれるのか、恵みをいただきましょう。

### ■救いの道

2000年10月、伊藤喜美子姉妹が、息子の理一兄弟に連れられて、飯田万民教会の主日礼拝に初めて来られました。理一兄弟が**1998年末に?事様の**伝道を受けて教会に来てから約2年後のことでした。

喜美子姉妹は当時、他の宗教団体に集っていませんでした。生まれたときからのご実家でして、もので、喜美子姉妹の日課として、「協会の掃除に行く」ことがありました。元々、新聞を読んだり、話を聞いたりすることには熱心な方で、一度教会の主日礼拝に出られてからは、柳承吉牧師先生のメッセージを聞くことが楽しみだと話されるようになりました。しかし、長年勤しんできた協会に行事があるときは、教会に

られることはありませんでした。

### ■区域交わり会

飯田万民教会では、2001年3月から、区域グループ交わり会の活動がはじまりました。教会にいられている聖徒様を地区ごとにいくつかの区域に分け、水曜日に家庭で交わり、礼拝を捧げるのです。区域交わり会では、主日の大きな礼拝とは違い、自分の信仰の相談や聖徒たちの証しを聞きながら、信仰生活を楽しく送ることができるように助けます。

喜美子姉妹も、この区域交わり会に参加されるようになりました。喜美子姉妹の区域には同年代の4人の婦人の方がおり、皆が信仰について、祈りについて、ゆっくりしたペースで体験し、受けることができました。もちろん、若い人たちのように、たくさんのお話を一度に受けていくことはなくても、聖霊様はその集まりに確実に働いてくださっていました。

一年後、一人で祈りができるようになった喜美子姉妹は、毎朝、毎晩神様に祈りを捧げるようになりました。喜美子姉妹がお祈りをすれば、その内容は、家族のこと、教会のこと、健康のことと幅広く捧げられます。洗練されたことばではなくても、真実に必要なことを変わらずにうったえる姿を、神様はどんなにか喜ばれたことでしょう。

数ヵ月後、祈りに答えられた神様は、ご主人である三四兄弟を教会に送って下さいました。そして、その頃から、喜美子姉妹の口から他宗教の話が消え、主日礼拝や水曜日の区域交

わり会を休むことがなくなったのです。日曜日と水曜日は休まない、心に決められたようでした。

### ■心のいやし

喜美子姉妹には、多くの病気がありました。喜美子姉妹の一番の悩みは糖尿病でありましたが、その他に家族にとって大変だったことは、季節によって精神的に不安に陥ることでした。しかし、教会に定期的に通うことによって、神様はまず、喜美子姉妹に楽しみを与えてくださり、毎日祈ることによって心の平安を与えてくださるようになりました。

また、元来素直な性格であった喜美子姉妹は、牧師先生に祈っていただければ、いやされるという信仰を心に持ち、風邪をひいても祈りを求めるようになりました。権能のいやし聖会にも、毎回参加し、そのたびに、腰の痛みや寝不足などのためにも祈りを求めました。あるときの聖会では、「今回は何を祈ってもらうの？」と聞くと「どっこも悪くなくなった。」と告白して、皆に恵みを与えたこともあります。

### ■心の願い

喜美子姉妹が切に願っていたことの一つに、離れている二番目の息子に会うことができました。

家庭には様々な事情がありますが、神様はその事情をこえて、働いてくださる方です。家を引っ越したいという家族の願いから、県や市の

斡旋する住宅へ転居することについて祈りました。喜美子姉妹の体のことを考えてもそれは必要なことでした。そして、神様の時が来て、転居の願いがかなえられました。

しかし、願いがかなえられたのは、それだけではありませんでした。新しく引っ越した我が家に、息子さんやお嫁さん、お孫さんまでが会いに訪れてくださるようになったのです。「嫁さんが孫を連れてきたんな。」という喜美子姉妹のうれしそうな顔。「お祈りしてよかったなあ。」という「うん。」と大きく返事をしながら、「また、来るって。」と話してくれました。

### ■神様のご覧になるところ

喜美子姉妹は今、しばらくの入院をしています。年とともに衰えてきた内臓を検査してもらうためにも、よい機会をいただいています。

病室をたずねると、明るい笑顔で迎えてくれます。同じ病室の方に聞けば、看護婦さんにお祈りをしてくれとって、驚かせることもあるようですが、牧師先生の訪問を心待ちにして祈りを受けられる心に、感動を覚えます。

**心の病のために、ときにはまわりの方々に心配をかけることもあります。**「誰々はどうしてる？」とか「今日は交わり会？」など、病院にいても生活の中心が教会にある姉妹の姿を見ながら、神様の救いに不可能はないと思わずにはられません。

「人はうわべを見るが、主は心を見る。」

(サムエル I 16:7)

### 「隣人の苦痛を自分の痛みのように受けよ」

体は、色々な部分で造られており、各部分は、それぞれ別々の仕事を行っています。そして、それらの部分は体にとって、必ず必要なものであります。もしも足が、私は手のように沢山の仕事は出来ない、体に属さないと言っても、体には付いているのであります。又、目がする仕事は大切だからといって全ての部分が目であれば臭いを嗅ぐことは出来ません。神様は体の必要によって、各部分を造られました。ですから、体のすべての部分は、平等で大切なものです。

さて、私たちが住んでいる社会にも同じことが言えるのです。時計は大きい歯車と小さい歯車とがかみあって正しい時間を示すことが出来るのです。それと同様に、仕事の内容に関係がなく、ひとつとなり、互いに助け合うことが出来たら、どれほど素晴らしい社会となるのでしょうか？

どのような立場にいたとしても、愛し合い相手を大切に思い苦痛すらも分け合い、共に楽し生活する者となりましょう。「ですから、ちょうど、からだの一つでも、そこに多くの部分があり、からだの部分はたとい多くあっても、その全部が一つのからだであるように、キリストもそれと同様です。」コリント第一 12:12

文 / 李 載禄 牧師      コラム「道」より



# 「権能のいやし聖会」

「聖書には、かつて使徒パウロという信仰のある人物が身につけていた手ぬぐいや前掛けをはずして病人に当てると、病気や悪霊が出て行ったという記述があります。この聖書のことは今も李 載禄 牧師を通して証されています。牧師が祈ったハンカチを病人に当てて祈ると、あらゆる病気がいやされ、悪霊は出て行き、目の見えない者の目が開き、口のきけない者が話せるようになるなど、驚くべき権能の御わざが全世界で大きく現わされています。「祈り」によって体が癒され、心を縛る目に見えない力から解放されるという神の力が、信じるあなたに現されます。」



聖会講師：  
柳承吉牧師

3月28日(水)  
夜7時より

ハッカを飲んだように。

「私は長年、胆石の持病をもっています。ハンカチのお祈りを受けると、まるでハッカでも飲んだようにお腹からスーとしてきて、重苦しさがなくなりました。」



朝まで寝られる喜び

「最近、夜中に目が覚めてしまい、睡眠不足に悩まされていました。勧められてハンカチのお祈りをうけましたが、その日から朝までよく寝られるようになりました。」



## <礼拝案内>

有礼拝、祈禱会、区域交わり会など、どなたでもご自由に参加することができます。

主日礼拝  
毎週主日(日曜)  
AM10:30~12:00

主日夕方礼拝  
毎週主日(日曜)  
PM3:00~5:00

教会学校・学生会  
毎週主日(日曜)  
PM1:00~2:00

早天礼拝  
毎週日~金曜日  
AM6:00~7:00

ダニエル祈禱会  
毎週月火土曜日  
PM8:30~10:00

区域交わり会  
毎週水曜日

万民聖書学院  
毎週木曜日  
PM8:30~10:00

金曜徹夜礼拝  
毎週金曜日  
PM9:00~AM1:30

宗 教 法 人   **イエス・キリスト日本聖潔教団**   **飯田万民教会**

395-0807 飯田市鼎切石 3883-4   #3883-4, KIRIISHI, KANAE, IIDA, NAGANO

電 話 0265-56-8286   FAX 0265-56-8287

http://iidamanmin.to.cx   E-mail imc@s9.dion.ne.jp